

令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。 時間の経過による言葉の変化や、世代による言葉の違いに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて文章と図表などを結びつけ、必要な情報を見つけることに課題がみられる。特に、無解答率が高かったため、説明文などをまとめる際には、資料と文章の結びつきを関連付けながらまとめる力を身に付けさせたい。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 示された資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる。 角の大きさについて理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能に関する問題に課題がみられる。各領域の身に付けたい知識・技能を今一度確認し、単元の途中にチェックテストを取り入れるなどして確認していきたい。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができる。 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識や身の回りの金属についての知識など、「エネルギー」を柱とする領域に課題がある。今後は、具体物の操作を取り入れる等を行い、理解を深めさせたい。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 友達や周りの人の考えを大切にして、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる割合が高い。 将来の夢や目標をもっている児童の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う。」に対する回答が低めであった。児童の小さな頑張りも細かく見取って褒めたり、学級全体で共有したりしていく必要がある。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

今年度より学校研究のテーマを「自ら学び 考えを深め 未来に生かすことができる子」に変更し、「めざす子どもの姿」を共有、さらにチームで授業をデザインする組織的な取組を行ってきました。また、お互いに高めあえる関係を構築し、よりよい取組につながるよう、全学年の授業を見合い、その内容について全教員参加で協議するという形を継続して行ってきました。今後も引き続き、学校研究の取組を進めてまいります。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

開校150周年を機に、グランドデザインに「きらきら夢 わくわく心=行動する私=～わくわくすることを大事にできる子～」という教育目標を掲げ、「心がわくわく」するような「きらきら夢」のある学校行事を作りあげる、「自分達が暮らす国府地区や大磯町の良さを知り、誇りに思い、語れる子」を目指すなど、自己肯定感が高まるような教育活動を継続してまいりました。その結果、「将来の夢や目標をもっている児童」が多いという結果がわかりました。今後とも、保護者・地域と協働し、国府地区の子どもを育ててまいります。また今回、「学校の授業時間以外(土・日含め)にどれくらい勉強をしていますか。」に対して、勉強の時間が短い傾向だったことをふまえ、家庭での継続的な学習も大切と考えます。学校の授業以外の取組については、家庭でのご協力もお願いいたします。